

4.8. ファイルの削除 -rm コマンド-

ファイルの削除は `rm` コマンドを用いて行います。

```
rm [オプション] ファイル名1 ファイル名2 ...
```

削除したいファイルが複数あるときは同時に指定することができます。利用可能なオプションとしては、主に以下のものがあります。

- v 削除中のファイルを表示します
- i 処理ごとに「本当に削除するか」を質問してきます
- f 質問なしに強制的に削除します
- r ディレクトリごと削除します

なお、削除の際に質問が出てしまうので、通常は“-f”と組み合わせて用います。ただし、このコマンドを用いる際は細心の注意が必要です。誤って重要なデータを削除してしまわないよう気をつけて下さい。

```
$ ls
ab cd
$ rm -v ab
removed `ab`
$ ls
(ファイルが削除され、何も表示されない)

$ touch test
$ rm test
rm: remove 通常の空ファイル `test'? y ←ここで”y”か”n”を入力します
$ rm -f test
$ ls
(質問なしにファイルが削除され、何も表示されない)
```